



平成25年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年11月9日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 フジコー

コード番号 2405 URL <http://www.fujiikoh-net.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 小林 直人

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室長

(氏名) 清水 周二

TEL 03-3841-5431

四半期報告書提出予定日 平成24年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年6月期第1四半期の業績(平成24年7月1日～平成24年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年6月期第1四半期	518	15.0	59	—	32	—	20	—
24年6月期第1四半期	451	17.2	2	—	△18	—	△15	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年6月期第1四半期	6.93	—
24年6月期第1四半期	△6.25	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年6月期第1四半期	2,903	1,057	36.4
24年6月期	2,882	899	30.8

(参考) 自己資本 25年6月期第1四半期 1,057百万円 24年6月期 888百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年6月期	—	0.00	—	5.00	5.00
25年6月期	—	—	—	—	—
25年6月期(予想)	—	0.00	—	6.00	6.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年6月期の業績予想(平成24年7月1日～平成25年6月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,000	7.9	100	130.4	60	—	35	—	11.00
通期	2,000	7.2	170	73.5	110	348.9	60	—	18.86

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」第5条の4に該当するものです。詳細は、四半期決算短信(添付資料)4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年6月期1Q	3,181,600 株	24年6月期	2,561,600 株
25年6月期1Q	78 株	24年6月期	78 株
25年6月期1Q	2,974,855 株	24年6月期1Q	2,557,050 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、作成日現在において入手可能な情報に基づいて算定しております。今後の経済状況等の変化により、実際の業績は異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項について、四半期決算短信(添付資料)4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	3
(3) 業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
4. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期累計期間における取り組みは、既存事業の収益改善と将来の事業拡大に向けた検討を進めてまいりました。建設系リサイクル事業は、前第3四半期及び第4四半期に施設の改修工事を行った結果、各施設とも高い稼働率での運転を継続しております。受入平均単価も安定的に推移しており、売上高は全ての設備において、前年及び計画数値を上回っております。食品系リサイクル事業は、堆肥化から飼料化への転換により、堆肥化施設の受入数量が前年同期比で大幅に減少しておりますが、液状化飼料の外部販売数量は増加傾向で推移しております。白蟻解体工事は、解体工事及び白蟻工事は施工体制の縮小により、売上高は減少しております。

前年同期は震災廃棄物の受入等、外部環境に起因する部分もありましたが、当第1四半期累計期間は新規取引先の51社と既存取引先の受入数量増加等により、安定的に売上高が伸長しております。

これらの結果、売上高は第1四半期累計期間としては過去最高の518百万円（前年同期比15.0%増）となりました。

売上原価は、解体工事の減少等により外注費用が、社内工事の活用等により修繕費が、安定出荷により銚田ファームの費用がそれぞれ減少しております。一方、受入数量の増加等により委託費用、消耗品費並びに人件費が増加しておりますが、売上高の増加により、売上総利益は111百万円（前年同期比100.6%増）となりました。

販売費及び一般管理費は、人件費が増加しておりますが、前期に発生しておりました再生飼料の試験費用及び支払手数料等の削減に努めた結果、前年同期比1.1%減の51百万円となり、営業利益は59百万円（前年同期は2百万円の営業利益）となりました。営業外収益は賃貸収入により前年同期比1百万円増の2百万円、営業外費用は支払利息が減少しておりますが新株発行関連費用の発生により前年同期比5百万円増の28百万円となり、経常利益は32百万円（前年同四半期は18百万円の経常損失）、四半期純利益は20百万円（前年同四半期は15百万円の四半期純損失）となり、売上高の回復により各利益において黒字化となりました。

セグメントの業績は次の通りであります。

①建設系リサイクル事業

(単位：百万円)

	当第1四半期	前第1四半期	前年同四半期比	計画	計画比
売上高	420	323	96	347	72
売上原価	323	301	22	299	24
売上総利益	96	22	74	48	48

建設系リサイクル事業は、取引先社数の増加と取引先業種の多様化により受入数量が増加するとともに受入平均単価も堅調に推移しております。焼却施設の受入数量は前年同期比32.6%増加、発電施設は前年同期に実施しました法定点検の影響もありますが29.4%増加するとともに、受入平均単価の向上により焼却施設の売上高は50.8%増加、発電施設は31.7%増加しております。その他の破碎施設におきましても前年の震災廃棄物が100%近く減少しておりますが、新規取引先の増加等により売上高は15%増加しております。

売上原価は修繕費が減少しておりますが、人件費、消耗品費、委託費用等が前年同期比及び計画比で増加しております。

これらの結果、当第1四半期累計期間の売上高は420百万円（前年同期比29.9%増）、売上総利益は96百万円（前年同期比336.2%増）となりました。

②食品系リサイクル事業

(単位：百万円)

	当第1四半期	前第1四半期	前年同四半期比	計画	計画比
売上高	66	80	△14	64	2
売上原価	52	54	△2	51	1
売上総利益	14	26	△11	13	1

食品系リサイクル事業は、液状化飼料の販売数量の拡大に注力するとともに原料確保に取り組んでまいりました。堆肥化施設は受入平均単価が9.9%向上しておりますが、受入数量が前年同期比40.8%減少した結果、売上高は前年同四半期比で35%減少しております。飼料化施設は、運搬会社との協業を進めることにより新規取引先の拡大に努めておりますが、飼料化原料に適したものと受入価格のバランスが折り合わず、前年同期と概ね同額の売上高となりました。銚田ファームは業務の改善が進んでおり、飼料及び養豚の売上高は、前年同期比20.2%増加しております。

売上原価は人件費が増加しておりますが、銚田ファームの費用削減により概ね計画通り推移しております。

これらの結果、当第1四半期累計期間の売上高は66百万円（前年同期比17.5%減）、売上総利益は売上高の減少により14百万円（前年同期比44.8%減）となりました。

③白蟻解体工事

(単位：百万円)

	当第1四半期	前第1四半期	前年同四半期比	計画	計画比
売上高	31	46	△15	43	△11
売上原価	31	39	△7	38	△6
売上総利益	0	7	△7	4	△4

白蟻解体工事は、解体工事体制の見直し及び白蟻工事の縮小により、前年同期比及び計画比で、売上高及び売上総利益ともに下回っております。

これらの結果、当第1四半期累計期間の売上高は31百万円（前年同期比32.0%減）、売上総利益は0百万円（前年同期比99.6%減）となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

当第1四半期会計期間末の総資産の状況は、前事業年度末に比べ20百万円増加し、2,903百万円となりました。主な増減要因は次のとおりです。

流動資産については、新株発行による調達等により現金及び預金が77百万円増加したことにより、前事業年度末に比べ89百万円増加し、426百万円となりました。

固定資産については、減価償却等により57百万円の減少、繰延税金資産の取崩しにより14百万円の減少等により、前事業年度末に比べて68百万円減少し、2,477百万円となりました。

流動負債については、短期借入金が84百万円減少しましたが、買掛金が10百万円増加したこと等により、前事業年度末に比べ58百万円減少し、538百万円となりました。

固定負債については、借入金及び社債の返済等により70百万円減少したこと等により、前事業年度末に比べ79百万円減少し、1,307百万円となりました。

純資産については、新株発行により、資本金及び資本準備金が161百万円の増加、四半期純利益20百万円、期末配当金12百万円の計上、新株予約権11百万円の償却等により、前事業年度末に比べ158百万円増加し、1,057百万円となりました。

(3) 業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、当第1四半期会計期間の売上高が計画を上回っており、堅調に推移しております。売上高は、売上構成比の高い建設系リサイクル事業において、現場の稼働日数が少なくなる8月の売上高が落ち込む傾向でありましたが、取引先業種の多様化と取引先社数の増加により、第1四半期会計期間であります7月～9月の全社売上高は170百万円を超えて推移しております。受入平均単価が向上するとともに受入数量も堅調に推移しているため、当初の計画を上回る見通しであります。

売上原価は、受入数量の増加に伴い、人件費及び消耗品費等が増加しておりますが、原価率の改善により、営業利益、経常利益、四半期純利益につきましても、当初業績予想の数値を上回る見通しであり、これに伴い通期の業績予想につきましても、売上高、営業利益、経常利益及び当期純利益を修正いたします。しかしながら、施設の保守点検に伴う稼働状況等、売上高の増減及び維持管理費の発生等による業績の変動要因もありますので、第1四半期会計期間の進捗状況をもとに、第2四半期会計期間及び通期の業績予想を以下の通りに修正しておりますが、変動が見込まれる場合は、必要に応じて適時開示してまいります。

平成25年6月期第2四半期累計期間の業績見通しは、売上高1,000百万円、営業利益100百万円、経常利益60百万円、四半期純利益35百万円を見込んでおります。

平成25年6月期の業績見通しは、売上高2,000百万円、営業利益170百万円、経常利益110百万円、当期純利益60百万円を見込んでおります。

これらの取り組みにより、現時点におきまして前回公表数値に変更はありません。

(単位：百万円)

	当第1四半期	前第1四半期	前年同四半期比	計画	計画比
売上高	518	451	67	455	63
売上原価	407	395	11	389	18
売上総利益	111	55	55	66	44
販売管理費	51	52	0	52	△0
営業利益	59	2	56	14	45

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期会計期間より、平成24年7月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる当第1四半期累計期間の営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益への影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表
(1) 四半期貸借対照表

(単位: 千円)

	前事業年度 (平成24年 6 月30日)	当第1四半期会計期間 (平成24年 9 月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,048	90,994
受取手形及び売掛金	260,934	264,088
仕掛品	9,555	11,394
原材料及び貯蔵品	19,675	17,053
前払費用	22,149	20,616
繰延税金資産	15,545	22,658
その他	683	1,490
貸倒引当金	△4,950	△1,856
流動資産合計	336,643	426,439
固定資産		
有形固定資産		
建物	1,551,118	1,551,342
減価償却累計額	△523,492	△536,362
建物(純額)	1,027,626	1,014,980
構築物	283,215	283,215
減価償却累計額	△169,780	△172,798
構築物(純額)	113,435	110,416
機械及び装置	2,580,637	2,584,264
減価償却累計額	△1,595,192	△1,635,134
機械及び装置(純額)	985,445	949,130
車両運搬具	46,911	45,648
減価償却累計額	△40,345	△40,039
車両運搬具(純額)	6,565	5,608
工具、器具及び備品	37,552	37,552
減価償却累計額	△32,387	△32,865
工具、器具及び備品(純額)	5,165	4,686
生物	4,734	4,734
減価償却累計額	△1,830	△2,221
生物(純額)	2,903	2,513
土地	307,995	307,995
建設仮勘定	4,213	7,191
有形固定資産合計	2,453,350	2,402,523
無形固定資産		
その他	16,122	15,178
無形固定資産合計	16,122	15,178
投資その他の資産		
関係会社株式	35	135
繰延税金資産	49,072	34,886
その他	33,687	30,332
貸倒引当金	△6,114	△5,740
投資その他の資産合計	76,680	59,613
固定資産合計	2,546,152	2,477,315
資産合計	2,882,796	2,903,755

(単位:千円)

	前事業年度 (平成24年 6 月 30 日)	当第 1 四半期会計期間 (平成24年 9 月 30 日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	134,525	144,579
短期借入金	93,892	9,000
1年内返済予定の長期借入金	200,004	200,004
未払金	104,781	102,832
未払法人税等	3,141	6,387
賞与引当金	—	28,147
その他	60,332	47,634
流動負債合計	596,678	538,585
固定負債		
社債	20,000	—
長期借入金	1,220,770	1,170,769
長期末払金	103,335	93,987
その他	42,750	42,750
固定負債合計	1,386,855	1,307,506
負債合計	1,983,534	1,846,091
純資産の部		
株主資本		
資本金	213,372	294,592
資本剰余金	334,472	415,072
利益剰余金	340,234	348,034
自己株式	△35	△35
株主資本合計	888,044	1,057,663
新株予約権	11,217	—
純資産合計	899,262	1,057,663
負債純資産合計	2,882,796	2,903,755

(2) 四半期損益計算書
第1四半期累計期間

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自 平成23年7月1日 至 平成23年9月30日)	当第1四半期累計期間 (自 平成24年7月1日 至 平成24年9月30日)
売上高	451,223	518,860
売上原価	395,892	407,854
売上総利益	55,331	111,006
販売費及び一般管理費	52,396	51,842
営業利益	2,934	59,163
営業外収益		
受取利息	4	6
受取家賃	797	904
その他	275	1,181
営業外収益合計	1,077	2,092
営業外費用		
支払利息	14,310	13,129
社債利息	383	149
支払手数料	5,800	13,454
その他	2,225	1,936
営業外費用合計	22,720	28,669
経常利益又は経常損失(△)	△18,707	32,585
特別利益		
リース解約益	3,406	—
特別利益合計	3,406	—
特別損失		
固定資産売却損	11	39
固定資産除却損	97	440
貸倒引当金繰入額	178	—
特別損失合計	287	480
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△15,589	32,105
法人税、住民税及び事業税	379	4,425
法人税等調整額	—	7,073
法人税等合計	379	11,498
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△15,968	20,606

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成24年8月24日付で、株式会社ティーティーアイから第三者割当増資の払込みを受けました。この結果、当第1四半期累計期間において資本金が81,220千円、資本準備金が80,600千円増加し、当第1四半期会計期間末において資本金が294,592千円、資本準備金が415,072千円となっております。